

令和5年度 新任職員指導者技術向上研修（排泄編）実施要項

1. 目的

排泄ケアは、介護を要する高齢者等の尊厳にも関わる問題であり、在宅介護の日常的な課題となっている。この研修では、排泄についてのアセスメントから適切な排泄ケアを導き、介護の前提となる考え方や最新の介護技術、他施設の取組を学び、指導者としてのスキルを高める。

2. テーマ 「生活を支援する排泄ケア～現場で実践する知識を身につけよう～」

3. 実施主体 富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ とやま介護テクノロジー普及・推進センター

4. 開催日時

11月6日(月) 9:30～17:00
11月7日(火) 9:00～16:30

5. 開催場所

富山県総合福祉会館(サンシップとやま)
11月6日(月) 2階 研修室
11月7日(火) 2階 研修室・2階 県民サロン

6. 受講条件

介護施設・居宅介護支援事業所等に勤務する介護・看護職で、下記①、②の要件を満たす者とする。

- ① 介護・看護等の業務に7年～10年程従事し、現在指導的な立場にある。
- ② 2日間とも受講する。

- ・研修では、各自が自分の事例を分析し、ケアプランを作成する演習を行う。
- ・施設・事業所での排泄ケアを推進するために、介護職と看護職が一緒に参加されることを推奨する。また、排泄ケアは下剤の管理が必要なため、特に看護師の参加を推奨する。

7. 募集定員 30名

8. 研修内容 日程表(別紙1)のとおり

9. 受講料 4,000円

10. 申込み方法

当センターHPの「講座・研修」ページにある申込フォーム(Googleフォーム)よりお申込みください。併せて、上記ページより「事例フォーマット(別紙2)」(研修要項PDF内)をダウンロードし、メール又はFAXで提出をお願いします。※締切日：9月8日(金)



11. その他

- 1) 受講者を選定の上決定し9月22日(金)に、施設長あてに受講決定通知を送付する。
- 2) 下記の本を研修テキストとして使用するため、受講者は各自で準備し持参する。
西村かおる編著：「新排泄ケアワークブック」中央法規出版 定価：3,000円(税別)

日程表

「生活を支援する排泄ケア～現場で実践する知識を身につけよう～」

日 時：11月 6日（月） 9：30～17：00
 11月 7日（火） 9：00～16：30
 会 場：富山県総合福祉会館（サンシップとやま）
 1日目：2階 研修室
 2日目：2階 研修室 県民サロン

	時 間	内 容	講 師
一 日 目	9:00 ～ 9:30	受 付	(株) コンチネンスジャパン 専務取締役 西村 かおる 氏 (日本コンチネンス協会 名誉会長)
	9:30 ～ 9:40	オリエンテーション	
	9:40 ～12:00 (途中休憩 15分)	排泄ケアとは何か 排泄のメカニズムと排泄障害の種類	
	12:00 ～ 13:00	昼 食	
	13:00 ～ 16:00 (途中休憩 15分)	アセスメントの具体的ポイント	
	16:00 ～ 17:00	施設における排泄ケア取組み発表 受講者施設の紹介	
		講師 助言	
二 日 目	8:45 ～ 9:00	受 付	(株) コンチネンスジャパン 専務取締役 西村 かおる 氏 (日本コンチネンス協会 名誉会長)
	9:00 ～ 11:00 (途中休憩 15分)	排泄障害のケア	
	11:00 ～ 12:00	グループワーク（情報交換）	
	12:00 ～ 13:00	昼 食	
	13:00 ～ 14:00	グループワーク（まとめ・発表）	
	14:00 ～ 16:30	ケアの実際 骨盤底筋訓練の実技・用具の活用	

1. 「新排泄ケアワークブック」はテキストとして使用しますので、各自準備し必ず持参してください。
2. 簡単な体操を行いますので、研修2日目はズボンを着用してください。

事例フォーマット

提出者氏名： _____

あなたが担当している排泄障害のある方ひとりについて記入してください。

性別： 男・女 年齢： 歳	主な既往歴： 服用中の薬：	
ADL状態 歩行・座位・寝たきり	認知症 無 ・ 有 ()	
関わっている人	困っていること・望んでいること	
目 標		
尿意の訴え		
便意の訴え		
トイレの認識ができるか		
起居・移乗・移動の状態		
衣類の着脱の状態		
便器の準備の状態		
排尿状態		
排便状態		
後始末の状態		

【提出先】 mail:miyahara@wel.pref.toyama.jp / FAX:076-432-6307

【締切日】 令和5年9月8日(金)